

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2020年度)

専門分野区分	簿記会計	科 目 名	原価計算Ⅱ	科目コード	T1820A1
配 当 期	前期・ <u>後期</u> ・通年	授業実施形態	<u>通常</u> ・集中	単 位 数	2 単位
担当教員名	河本 順子	履修グループ	2I(BO)	授業方法	講義
実務経験の内容	企業における実務経験、また約 10 年間大手銀行系列会社でのデータベース構築経験、企業や官公庁への出講経験を活かし、簿記・経理の実務やオフィスアプリケーションの活用について実践的に講義する。				
学習一般目標	本授業 では、日本商工会議所主催の日商簿記 2 級 (工業簿記) の基礎から応用レベルの知識を修得し、実務で活用できることを目指す。 製品の製造方法により計算方法を使い分けできるようになる。				
授業の概要 および学習上の 助言	原価計算の応用 部門別・費目別計算の応用 問題演習				
教科書および 参 考 書	教科書：サクッとわかる日商 2 級 テキスト 工業簿記 ネットスクール出版 サクッとわかる日商 2 級 トレーニング 工業簿記 ネットスクール出版				
履修に必要な 予備知識や 技能	前期に学習した原価計算Ⅰの知識を有していることが望ましい。				
使 用 機 器	電卓				
使用ソフト					
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
	1・2	CVP 分析、本社工場会計について説明できる。			
	1・2	個別原価計算、部門別計算、費目別計算ができる。			
	3・5	授業に意欲をもって取り組むことができる。			

達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計	
	総合評価割合	50	10					40	100	
	学部 D P	1.知識・理解	30	10						40
		2.思考・判断	20							20
		3.態度							20	20
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							20	20
評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点								
	試験	定期試験期間中に試験を行う。								
	クイズ 小テスト	授業期間中に小テストを行う。								
	レポート									
	成果発表 (口頭・実技)									
	作品									
	ポートフォリオ									
	その他	授業態度 (集中して授業を受けているか) 及び授業参加 (積極的に発言しているか) により評価 する。								

授業明細表

回数/日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 9/25	オリエンテーション 第1章 工業簿記の基礎の復習	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第2週 10/2	第2章 費用別計算の応用 費用の分類	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第3週 10/9	第3章 製造間接費の配賦の応用 実際配賦と予定配賦	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第4週 10/16	第4章 総合原価計算の応用 (前半) 等級別総合原価計算・組別総合原価計算	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第5週 10/23	第5章 総合原価計算の応用 (後半) 工程別総合原価計算	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第6週 10/30	第6章 標準原価計算の応用 (前半) 直接材料費差異・直接労務費差異	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第7週 11/6	第6章 標準原価計算の応用 (後半) 製造間接費差異	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第8週 11/13	第7章 CVP分析と直接原価計算の応用 損益分岐点分析	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第9週 11/20	第8章 個別原価計算の応用 (前半) 製造指図書	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第10週 12/4	第8章 個別原価計算の応用 (後半) 原価計算表	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第11週 12/11	第9章 部門別計算の応用 (前半) 第1次集計	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第12週 12/18	第9章 部門別計算の応用 (後半) 第2次集計	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第13週 1/8	第10章 費目別計算の応用 労務費会計	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第14週 1/15	第11章 本社工場会計の応用 本社・工場間の取引	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第15週 1/22	まとめ	講義 問題演習	誤答問題の再確認